

## 平成30年度 沼田市地域公共交通会議会議録

- 1 日 時 平成30年5月30日（水） 13時50分～14時17分
- 2 場 所 沼田中央公民館 3階 第一講義室
- 3 出席者 五十嵐会長 外委員10名（別紙のとおり）
- 4 会議の概要

傍聴者なし。会議の結果は、沼田市公式ホームページ上で公開することについて確認。

定足数については委員14名中、11名出席であり、会議は成立した。

### （1）協議事項

- 1) 沼須線の「地域内フィーダー系統確保維持計画」について  
計画内容（「資料」1～7ページ）

フィーダー系統とは複数市町村間を運行する、地域間幹線に停留所で接続する支線のことをいう。沼田市でいう地域間幹線は、上毛高原駅などから片品村方面へ運行を行う鎌田線などがある。

地域内フィーダー系統確保維持計画は、関東運輸局から地域公共交通の確保・維持・改善のために、認定を受けるもの。計画が認定されれば国庫補助の対象となる。沼田市においては、平成27年度に新設した「沼須線」がこれに該当し、運輸局から計画の認定を受けている。

沼須線は、通院など日常生活に欠かせない路線となっているため、運行を継続し、交通弱者の移動手段を確保する必要がある。

当初は、沼田駅～利根中央病院、沼田市保健福祉センター～利根中央病院の2系統で運行していたが、平成30年3月17日に系統を沼田駅～利根中央病院へ統合した。これに伴い運行時刻も変更している。運行開始から初めての変更であり、路線の定着を見守る必要がある。外客来訪促進計画との整合性について、「該当なし」に修正させて頂きたい。車両取得に係る項目について、沼須線の導入にあたり、車両を新たに1台導入したため、その費用の減価償却を行うもの。次年度で減価償却が終了予定。

計画には3ヵ年の目標を記載しているが、補助金交付要綱の定めにより、年度ごとに計画の見直しと事業評価を行い、沼田市地域公共交通会議での審議が必要となるため、委員の方はご承知おき願いたい。

その他、関東運輸局等との調整で表現などが若干変更になることあるのでご承知おき願いたい。

【1）沼須線の「地域内フィーダー系統確保維持計画」について質疑応答】

委員：平成29年4月から利用者数が落ち込んでいるが、原因はわかるか。

事務局：沼須線は、利根中央病院への利用者が多くを占めるが、平成29年4月に診療科目の削減があり、外来者数が減少した。これが主な原因と考えられる。

2) その他

特になし

(2) その他

次年度に市役所移転も含め、複合施設「テラス沼田」がオープン予定。中心市街地の人の流れについても変化が予想され、これらを考慮した、路線バスの再編を検討している。再編を進めるにあたり、会長より本会議の招集をさせていただくことが想定される。ご理解・ご協力をお願いしたい。

〈協議結果〉

1) 沼須線の「地域内フィーダー系統確保維持計画」について質疑応答の後、諮った結果、異議なく原案のとおり承認された。